

視覚障害者向け取扱説明書

読み上げソフト 使用可能に

取扱説明書のイラストなどを文章に直す事業を、ITベンチャーのナレッジクリエーション(横浜市西区)が始めた。家電製品の高機能化に伴い取扱説明書には視覚に訴える図表が増えていくが、視覚障害者にはむしろ活用しにくい傾向にある。文章に直すことで、読み上げソフトを使うことが可能になる。

例えば、家電製品の取扱説明書にイラストで描かれているボタンの位置を「左上に〇〇ボタンがありま

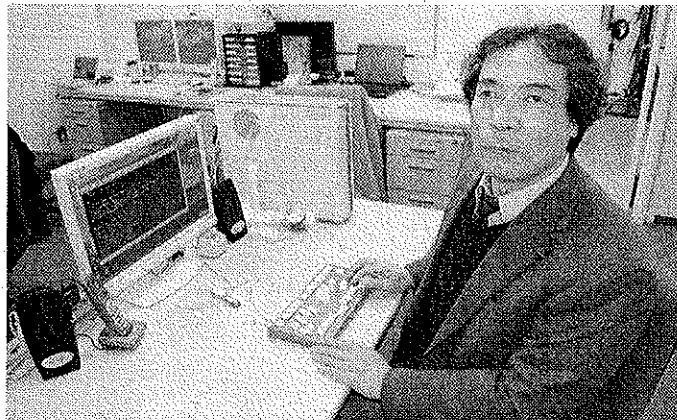
す」と、手作業で文章に置き換えていく。出来上がった文章は、新城直社長(54)が理事長を兼ねるNPO法人「ビューネット神奈川」で検証。実際に障害者が使用して課題を洗い出す。



自らの視覚に障害がある新城社長は「視覚障害者は最低限の機能しか使えなかったが、さまざまな製品をより深く使えるようになる」と事業の意義を説く。家電メーカーから受託す

ナレッジクリエーション

(横浜市西区)



新城社長の音声読み上げソフトを利用する。画面の文字を読み上げる自動音声スピーカーから流れる。—横浜市西区

新城社長はこれまで、簡単に操作できる携帯電話の開発などにも関わってきた。大手家電メーカーに採用されたことで「今後、いろいろな人の理解にもつながると思う」と期待を寄せている。

(山本 昭子)
◆ナレッジクリエーション
ホームページに音声読み上げ機能を付加するサービスや商品開発のコンサルティングを手掛ける。2005年設立。資本金3800万円。従業員5人。横浜市西区高島2の6の38。☎045(307)9300。